

1. 基本情報

事務事業名	19 東原公園水泳場管理事業				事業類型	施設運営受益者負担型			
予 算	会計 10	一般会計	款 10	教育費	項 05	保健体育費	目 01	スポーツ推進費	予算額 27,318 千円
長期計画	章 4	文化・交流活動がいざつくまち		施策分野 4	スポーツ・レクリエーション		基本施策	(2) 体育施設の整備と管理運営の充実	
実施計画	事業番号・事業名		4-6 青梅市スポーツ推進計画の策定・推進						
関連計画	青梅市スポーツ推進計画								
根拠法令等	青梅市体育施設条例								

2. 事業の目的

対象（誰を・何を）	目的（どういう状態にしたいのか）
市民	市民の体育およびレクリエーションその他社会教育の振興を図り、心身の健全な発達に資する

3. 事業の指標と単位当たりコスト

							平成30年4月1日現在人口	134,708 人
成果指標	指標の説明（考え方・算出方法）	単位	区分	年度	年度 A	30 年度 B	対前年度 B-A	市民 1 人当たりコスト (b/人口)
利用者数	各施設利用者合計数	人	目標				0	285.3 円
			実績			49,128	49,128	
			単位コスト	円	円	782 円	782 円	
開場日数	延べ開場日数	日	目標				0	市民 1 人当たり純行政コスト (f/人口)
			実績			40	40	
			単位コスト	円	円	960,850 円	960,850 円	

4. 行政コスト計算書

(単位：千円)

勘定科目	年度決算額	年度決算額 A	30 年度決算額 B	対前年度 B-A	勘定科目	年度決算額	年度決算額 A	30 年度決算額 B	対前年度 B-A	
人件費	職員給与費		1,507	1,507	経常収益	分担金・負担金		0	0	
	賞与等引当金繰入額		133	133		使用料・手数料		0	0	0
	退職手当引当金繰入額		0	0		その他		30	30	30
	その他		0	0		合計 (a)	0	0	30	30
	小計	0	0	1,640		1,640	臨時損失 (c)		0	0
業務費用	物件費		27,313	27,313	臨時利益 (d)		0	0	0	
	維持補修費		0	0	臨時損益 (d-c-e)	0	0	0	0	
	減価償却費		9,477	9,477	純行政コスト (f) = (b+e) - a	0	0	38,404	38,404	
	その他		0	0						
	小計	0	0	36,790	36,790					
その他の業務費用	支払利息		0	0						
	徴収不能引当金繰入額		0	0						
	その他		4	4						
小計	0	0	4	4						
小計	0	0	38,434	38,434						
移転費用	補助金等		0	0						
	その他		0	0						
小計	0	0	0	0						
合計 (b)	0	0	38,434	38,434						

(単位：%)

区 分	年度	年度	30 年度
有形固定資産減価償却率			88.3
受益者負担割合 (a/b)			0.1

科 目	年度決算額	年度決算額 A	30 年度決算額 B	対前年度 B-A
国庫支出金			0	0
都支出金			0	0
その他			30	30
合計	0	0	30	30

5. 人員体制

(単位：人)

	年度	年度 A	30 年度 B	対前年度 B-A
職員			0.18	0.18
再任用職員			0.00	0.00
嘱託職員			0.00	0.00
計	0.00	0.00	0.18	0.18

6. 行政コストの主な事項

	経常費用	経常収益・臨時損益
決算額の主な内訳	・管理運営委託料（指定管理料） 27,312,890円	・その他内訳 退職手当引当金減額分 30,000円
主な増減理由		

7. 貸借対照表

(単位：千円)

勘定科目		年度末 A	30年度末 B	対前年度 B-A	勘定科目	年度末 A	30年度末 B	対前年度 B-A
資産の部	有形固定資産	事業用資産	108,442	108,442	負債の部	固定負債	0	0
		土地	0	0		地方債	0	0
		建物	112,990	112,990		退職手当引当金	1,529	1,529
		減価償却累計額	-97,920	-97,920		その他	0	0
		その他	93,373	93,373		流動負債	0	0
		インフラ資産	0	0		1年内償還予定地方債	0	0
		土地	0	0		未払金	0	0
		工作物	0	0		賞与等引当金	0	0
		減価償却累計額	0	0		その他	0	0
		その他	0	0		合計	0	1,529
	物品	0	0	純資産の部	固定資産等形成分	0	108,442	108,442
	減価償却累計額	0	0		余剰分(不足分)	0	-1,529	-1,529
	無形固定資産	0	0		合計	0	106,913	106,913
	投資その他の資産	0	0		負債および純資産の部 合計	0	108,442	108,442
流動資産	現金	0	0					
	未収金	0	0					
	徴収不能引当金	0	0					
	その他	0	0					
合計	0	108,442	108,442					

8. 貸借対照表の主な事項

勘定科目	事業用資産(建物)	勘定科目	事業用資産(その他)
決算額の主な内訳	・東原水泳場管理棟 鉄筋コンクリート造 794.59平方メートル	決算額の主な内訳	・立木竹 975千円 ・工作物 725,750千円 (25mプール、流水プール、スライダープールほか) ・工作物減価償却累計額 △642,352千円
主な増減理由		主な増減理由	

9. 事業の評価【一次評価】

29年度末時点の課題事項	2012年のスポーツ実施率28.8%、2016年の41.0%から更なる向上を図るため、市民がスポーツを気軽に行える場を充実させる必要がある。	対応結果	解決	事業目的を達成するための30年度事業目標【Plan】	「青梅市スポーツ推進計画」に掲げる「週1回以上のスポーツ実施率を2023年までに70%以上とする」ことを目指し、施設の適切な維持・整備を行うとともに、施設を管理する指定管理者の民間事業者としてのノウハウを活用した効率的な施設管理と効果的な運営により、市民がスポーツを気軽に行える場を充実させ、利用者の増加を図る。	
上記目標達成に向けた主な活動実績効果【Do】	<ul style="list-style-type: none"> ・広報への掲載や施設専用のホームページやツイッター、フェイスブック等SNSの活用、市内小学校へのプールだよりの配布等積極的な周知活動を行った ・施設の不具合には対応策を講じ、簡易修繕等を行ったが、老朽化による補修や整備等を行う必要がある ・暑さ対策として、入口に熱中症対策の掲示をし注意喚起を行うとともに、場内のスプリンクラーを2基増やし、散水を多く行った ・上記対応により、前年度に比べ利用者数が増加した (・起流ポンプ交換工事実施に伴い、前払金9,000千円を支出した)					
事業評価【Check】			総合評価【Check】			
【効率性】事業の進め方	B(良い)	【経済性】予算の使い方	B(良い)	【有効性】施策達成に対し	B(良い)	達成
評価結果から明らかになった課題事項【Check】	利用者は増加したところであるが、施設老朽化による補修や整備を行う必要がある		今後の取組【Action】	利用者増加に向け、施設の適切な維持・整備を図っていく。		今後の方向性【Action】 現状維持

※A 非常に良い=改善の余地なし、B 良い=必要に応じて改善、C 悪い=改善または廃止を検討

10. 行財政改革推進本部評価【二次評価】(対象事業のみ)

評価	本水泳場は、流水プール、幼児用プール、25mプールおよびスライダープールを有する複合型施設のため、施設の利用者層も多岐に渡り、例年、市内外から多くの利用者が訪れている。 平成30年度は、前年度と比較し、開場日数については、天候等の関係により7日少なかったものの、利用者数については1,424人増となった。これは、利用者増を図るべく行った広報活動等が効果的であったことを示しており、利用者数の増加に向けた取組が行われた。今後も、更なる利用者増を図るべく、指定管理者と連携を図りながら、魅力ある施設運営に努めることとする。 また、施設面に対しては、流水プールの起流ポンプ交換に取り掛かるなど、部分的な改善に取り組んでいるものの、全体的に老朽化していることから、突発的な改修・修繕の発生を抑制するよう、日常的に施設・備品等の点検を実施するほか、他の水泳場とともに計画的に修繕等を行い、経常費用の抑制に努めつつ、施設の安全管理の徹底と魅力づくりを行う必要がある。 それと合わせて、他自治体における類似施設と比較するなどし、利用料金の単価についても検証する必要がある。
----	--